

## (仮称) 東大和市総合福祉センター基本計画案に対する意見募集の結果

(仮称) 東大和市総合福祉センター基本計画案に対する意見募集を行ったところ、次のとおり市民の皆さんからご意見等をいただきました。お寄せいただいたご意見等の概要と東大和市の考え方を公表いたします。

- 意見募集期間 平成24年5月15日(火)から6月15日(金)まで
- 意見件数 8名 11件 (市民8名)
- 提出手段 郵送、Eメール、FAX、持参による
- 寄せられたご意見等と市の考え

ご意見等の概要	市の考え
<b>実施事業・施設の構成について</b>	
<p>・実施する事業は他市でも行われており、あまり障害者のためになっていない。障害者と高齢者が一緒に利用できる、どこにもない福祉センター(温水プール・訓練室・宿泊室・授産事業)にしてもらいたい。また、電動車いすやセニアカー等自力で通えるようにしてもらいたい。</p>	<p>・この基本計画案では、センターを障害者福祉の中核的な機能を担うものと位置づけ、公募市民や福祉関係団体者から構成された基本計画策定検討委員会の意見を参考に、実施事業をまとめたものです。市の財政状況等を勘案し、民間活力の導入を視野に入れており、当市にとってこの方針に沿った整備が必要であると考えています。</p> <p>・施設についてはバリアフリー対応とし、車いす等でも出入りが容易にできるよう配慮します。</p>
<p>・3階建てとあるが、高さ的にはそれ以上の建物が必要ではないか。施設を利用する方たちがどこでどのように利用するのかが全く示されていない。一般市民の人たちが利用できることも必要だが、当面、障害児・者とその家族や高齢者を対象とした方向性が優先されるべきである。</p>	<p>・センターの床面積・階層については、基本計画案の中では3階建て以上の形状を想定しています。今後、具体的な空間構成については、事業予定者の提案も含めて検討していきたいと考えています。</p> <p>・センターは、障害者の方だけでなく、一般市民も気軽に立ち寄れ、相互の理解、交流が図れるような施設を目指します。</p>
<p>・施設内調理の件ですが、刻み食だけでなく就労継続支援B型サービス利用者にも施設内調理の給食サービスを利用できるように強く希望します。</p>	<p>・センター内における給食の提供方法等については、事業予定者と協議していきたいと考えています。</p>
<p>・これから総合福祉センターの整備についてたくさんの方の意見を決定するにあたり、現在のみのり福祉園利用者の意見も取り入れてほしい。</p>	<p>・事業予定者との協議の中で、みのり福祉園利用者の意見も反映できるように検討していきたいと考えています。</p>

利用者の通所・送迎について	
<p>・障害者が毎日センターに通う手段としての送迎バスを強く希望します。</p>	<p>・送迎バスについては、現在のみのり福祉園で実施している内容を基本として考えています。</p>
<p>・現在、みのり福祉園には徒歩か、又はちょこバスを利用していますが、今後総合福祉センター（桜が丘）の場所へ移ると、一層遠くなります。そこで唯一の交通手段であるちょこバスを、利用者の登園・降園に合わせた時間帯に設定してもらえないか。</p>	<p>・市内の公共交通を補完するコミュニティバス（ちょこバス）については、事業者や関係機関等で組織する地域公共交通会議において、関係する事項についての協議を整え、関東運輸局の認可を受けて運行を行っています。</p> <p>今後の地域公共交通会議における協議にあたっては、センター建設を踏まえた検討を行う必要があると考えています。</p>
<p>・障害者、保護者等当センター利用者のためのちょこバス停留所を設置するよう強く希望します。</p>	
法人の選定について	
<p>・事業者選定をする場合は、東京の事情に明るく、かつ障害者対応の実績のある事業者を選んで欲しい。</p>	<p>・事業予定者の選定については、基本計画策定後に作成する募集要項等に基づき、広く募集を行います。法人の選定にあたっては、適切に審査を行っていきたいと考えています。</p>
<p>・民設民営方式でも、今はどこでも運営がとても大変だということなので、市がしっかりバックアップしていただきたい。</p>	<p>・実施事業の中で、収益性が低く、運営上採算が見込まれないものについては、補助等の方法を検討していきたいと考えています。</p>
その他	
<p>・現在の福祉の概念は「地域福祉」にあり、その拠点となるのが総合福祉センターだと思います。しかし、基本計画案を読むと、「総合」というイメージからかけ離れていることや、これで本当に運営ができるのか疑問です。引き受けてくれる法人がいるのか、運営資金はどう捻出するのか。センターの一部を事務所として貸し出す等により、一般企業に入ってもらい、収入を得る方法もあると思います。</p> <p>また、地域住民の理解を得られるのかも心配です。</p>	<p>・「総合」の表現については、今後検討していきたいと考えています。実施事業は障害者福祉の施策が中心となりますが、多目的集会室を活用した健康相談・子育て（かるがも）相談・介護予防（東大和元気ゆうゆう体操）などの実施も考えており、多くの市民が気軽に利用できる施設を目指します。</p> <p>・社会福祉法人については、都外法人なども含めた幅広い募集を行う予定です。選定にあたっては、東大和市の地域性や福祉行政及び施策の内容を理解して、積極的に協力する姿勢があり、適切な事業運営を行うと考えられる法人を選定していきます。</p> <p>・今後、法人選定後に市民説明会を適宜開催していく予定です。</p>
<p>・多目的集会室ができるということで、現在の「のぞみ集会所」を取り壊す場合、各団体の所有する物品等を保管できる場所を確保していただきたい。</p>	<p>・のぞみ集会所に保管されている物品の取り扱いについては、別途、施設管理者・利用者・関係者との間で協議していただきたいと考えています。</p>

